

6年学年だより



た…誰かに頼らず自分の力で
い…今以上を常に目指す
よ…よく考え、学び
う…生み出す

令和7年5月30日(金)
目黒区立東根小学校
校長 高鍋 恭子
第6学年担任

～運動会を終えて～

心配された雨も降ることなく、無事に小学校生活最後の運動会が終わりました。多くの保護者の皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。子どもたちへのあたたかい声援により力が発揮できたので、素晴らしい思い出となりました。

実行委員を中心に子どもたちで構成や技を考えて挑んだ「組表現～絆～6年間の歩み」では、限られた時間の中で、一生懸命練習し、その熱意や努力の成果が本番でしっかり表現できていました。また、運動会係活動でも、一人ひとりが自分の役割を自覚し、責任感をもって取り組みました。学年としての成長も感じる事ができた行事になったと思います。この積み重ねを大切に、今後の学校生活や行事がより一層充実したものになるように指導していきます。

6月の行事予定

今月からは、学年だよりへの行事予定の掲載はなくなりました。そのため、避難訓練等、下校時刻や行事の日時については、学校だよりをご参照ください。

6月の学習予定

学習内容			
国語	主張と事例 文の組み立て たのしみは 天地の文 【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき デジタル機器と私たち 文字の配列		
社会	国づくりへの歩み 大陸に学んだ国づくり	音楽	いろいろな音のひびきを味わおう
算数	分数と整数のかけ算とわり算 分数×分数 分数÷分数	図工	墨と水から広がる世界
理科	植物の体のつくりとはたらき 人やほかの動物の体のつくりとはたらき	家庭	できることを増やしてクッキング クリーン作戦で快適に
体育	ネット型運動 水泳運動 ベースボール型運動	外国語	My Weekend
道徳	よりよい学校生活、集団生活の充実 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 友情、信頼	総合	世界とつながろう 情報教育 プログラミング教育 みんなの知らない世界

6月のお知らせ

○ ひがしねっこタイムについて

基礎学力定着のために、特別学習期間を設けます。6月は、木曜日に1～2回、行います。対象のお子さんには後日、Home&Schoolの連絡帳機能にてお知らせしますのでご確認ください。

○ 水泳指導について

水泳指導は、学年で行います。6年生の水泳指導日は、夏季休業前までは主に「金曜日4・5校時」「水曜日4・5校時（予備日）」となります。後日 Home&School で配信される水泳指導の便りをご覧のうえ、水着等のご準備・記名をお願いします。また、健康診断の通知結果で治療が必要な方は病院で早めの受診をお願いいたします。

今年度も、「水泳連絡カード」を使用します。当日の参加については、健康観察をした上で体温を記入し、入水許可として印鑑を押してください。記入漏れがある場合や押印がない場合は、安全のため見学といたしますのでご承知おきください。また、面白ハンコやサインは不可です。印鑑がない場合は事前に連絡帳にてお知らせください。

○ 興津自然宿泊体験教室について

7月 1日（火）食物アレルギー連絡票配布

（学校で食物アレルギーについて把握している方及び申し出のあった方のみ）

気になるメニューがある場合は成分表をお渡ししますので、お早めにご連絡ください。

7月 7日（月）食物アレルギー連絡票提出（7月1日に配布された方のみ）

7月16日（水）封筒2種類（お小遣い、保険証のコピー、調査票）配布

9月 2日（火）保護者説明会 15：00～

・開始時刻と場所は後日お知らせします。資料等は、当日配布いたします。

・封筒①（お小遣い）封筒②（保険証のコピー）、調査票を連絡バッグに入れてお持ちください。

※説明会に参加できない方は、後日保護者の方がご持参ください。

9月22日（月）宿泊前検診

9月24日（水）～9月26日（金）興津自然宿泊体験教室

～6月の児童の様子～

東根ラストラン！全員リレー

6年生全員でバトンを繋いだ全員リレー。限られた練習時間の中で、これまで体育の授業で学んできた知識や経験を最大限に生かしチームごとに走順を工夫したり、バトンの渡し方を改善したりと、完成度を高めていきました。ただ走るのではなく、「どうすればチームとしてもっと良くなるか」を考えながらお互いに教え合う姿は、まさに最高学年らしい頼もしさがありました。練習の合間には「ここ、もう少し合わせよう」「この順番の方が、流れがいいかも」といった前向きな声が自然と上がりました。うまくいかないときも責め合うことなく、「次があるよ。大丈夫。」と励まし合う姿に6年間で育まれた深い絆を感じました。

実行委員の子どもたちは、走順の調整だけでなく、競技の雰囲気をも引き立てる楽曲選びにも積極的にかかわりました。限られた時間の中でも最後まで妥協せずに取り組み、学年全体で一つの競技をつくり上げた経験は、大きな自信になったことと思います。



組表現～絆～6年間の歩み

今年は例年の組体操からスタイルを変え、「組表現」という新たな形に挑戦しました。組体操の技で自分達の想いを表現するこの演目は、構成、楽曲選び、隊形移動に至るまで、子どもたち自身で考え、つくり上げました。実行委員で話し合い、テーマとして決まった「小学校6年間の歩み」。低学年の頃の元気いっぱいな姿、進級するごとに育っていく友達との関わり。クラス替えての出会いと別れ、そして高学年になってからの団結や挑戦、仲間と共に歩んできた時間。——そんな一つひとつの場面を、技や動き、表情に込めて表現しました。

はじめは、「本当にできるのかな」「難しいよ」という不安の声も聞かれました。それでも「見ている人に伝えたい」「自分たちの歩みを残したい」という想いが、子どもたちの背中を押していきました。練習時間が十分にとれない中でも、子どもたちは工夫を凝らして取り組みました。「家で動画を見ながら練習したよ。」と話す子もいました。誰かに言われたからやるのではなく、「成功させたい」「みんなで作りたい」という想いが自然と湧き上がり、全員の行動につながっていったのだと思います。

学年全体で挑んだ大技「人間起こし」は、大きな挑戦でした。数人の土台に体を預ける子を、合図に合わせて一気に“起こす”という技。タイミングや力の加減、バランス、支える側の責任感——どれも難しく、一度の練習でうまくいく技ではありませんでした。でも、「これをやってみたい」と言ったときの子どもたちの目は、キラキラと輝いていました。あの瞬間の目は、今でもはっきりと覚えています。「何が何でも成功させたい」「仲間を支えたい」——そんな強い想いが、全員の動きの一つひとつからにじみ出ていました。

本番当日。技が決まるたびに起こる拍手。その拍手の音よりも、演技を終えた子どもたちの胸の高鳴りの方が大きかったのではないかと思います。「背中への砂は払わない」「絶対に仲間を支えてやる」——そんな、一人ひとりの覚悟が詰まった15分間。演技が終わった瞬間、思わず目頭が熱くなりました。そんな演技をやり遂げた6年生の背中には、ひと回り大きく見えました。「伝えたい」という気持ちは、きっと会場の多くの人の心に届いたはず。困難なことにも全力で向き合い、仲間とともに乗り越えていく力——それこそが、この組表現を通して6年生が見せてくれた、一番大きな成長だったのではないかと思います。

